

田んぼの両生類調べ

1 概要

水田や水路に産卵に来る両生類を調べ、産卵時期やオタマジャクシの活動期を記録し、彼らが水田や水路のどの部分を、いつの季節に、どのように利用しているかを記録します。

そのことにより、身近な両生類たちが、それぞれ水田をどのように利用しているのかについて学習し、彼らの目から見たときの水田のありかたについて考えます。

2 ねらい

- ・ 水田を利用する両生類を調べ、身近な生き物に関心を持たせます。
- ・ 水田を利用する両生類とその利用期間を調べ、周りの環境や稲作への適応について考えさせます。

3 調査の手順

- (1) 両生類調査をする対象水田を決定します。
- (2) 下に示す調査データを参考にして、両生類調査の日程を決定します。
- (3) それぞれの日程で、どんな種類の両生類が、どこで、どんな状態で見られたか記録します。
- (4) (3)をもとにして、彼らにとって住みやすい水田の環境についてクラス(学年)で討論します。

検討材料

- ・ 水路がドロ底であるか？
- ・ 強い農薬が使われているか？
- ・ まわりが雑木林で囲まれているか？

4 調査データ

水田を利用する両生類の成体観察データ(海南省孟子不動谷2003・2004年)

(1) ニホンアカガエル 少ない

雑木林の中で生息し、山際の水田や水路に産卵を行います。

産卵	2月15日	~	3月6日
孵化	3月12日	~	3月19日
上陸	4月30日		
林で発見	8月8日		

(2) カスミサンショウウオ 少ない

雑木林の林床の土中で生息し、湧き水があるような山際の水路に産卵します。

産卵	2月15日		
孵化	3月12日		
上陸	5月28日		

(3) シュレーゲルアオガエル ふつう

雑木林で生息し、春に水田に出てきて産卵します。

鳴き出し	2月28日		
水田に降りる	3月26日	~	4月1日
産卵	5月21日		

(4) トノサマガエル 少ない

周りを雑木林に囲まれた山間の水田で生息し、若い成体は林の中で暮らします。

(5) ヌマガエル 多い

主に水田で生息し、水路の土中で越冬します。